

日中友好のしんぶん

日本と中国

2023年
1 | 1

第2272号 付録 宮城県版第195号

昭和42年2月6日第三種郵便物認可
発行所 宮城県日中友好協会
〒981-0931 仙台市青葉区北山2-5-1-103
TEL・FAX 022-274-3811
<https://www.miyagi-jcfa.com/>
年1回発行



恭賀新禧

魯迅先生逝世八十六周年碑前祭
(二〇二二年十月十九日)



新年のご挨拶

一〇二三年新春メッセージ

中華人民共和国駐新潟総領事館



孫 大 剛

癸卯の春を迎えるにあたり、中国駐新潟総領事館すべての館員を代表して、宮城県日中友好協会の会員の皆さまおよび中日民間友好事業の発展にご関心と現して、一国間関係の安定と発展について五項目のコンセンサスに合意しました。両国の各界が一連の記念行事を繰り広げ、中日関係の全般的雰囲気の安定を図りました。

方々に心より新年のお祝いを申し上げます。昨年を振り返ると、中国共産党は第二十回全国代表大会を勝利のうちに開催し、中国の今後の発展の青写真を描きました。今年は中日平和友好条約締結四十周年であります。新しい

ご支援を寄せておられる各界の方々に心より新年のお祝いを申し上げます。昨年を振り返ると、中国共産党は第二十回全国代表大会を勝利のうちに開催し、中国の今後の発展の青写真を描きました。今年は中日平和友好条約締結四十周年であります。新しい貴協会は二〇二二年全日本中華人民共和国駐新潟総領事館の会員の皆さまが三年ぶりに対面での会談を実現して、一国間関係の安定と発展につけており、自由で開かれた活動を行なうことが難しい情勢にあります。

新年明けましておめでとうございます。特に、日本と中国の国家関係通せない状況にありますが、こはぎくしゃくの度を強め、私達の一年、会員とご家族の皆様にがいかに民間交流の旗を掲げては平稳無事にお過ごしいただけます。市井の人間同士の友好交流も目指した中国の皆さんとの友好交流は、私達が截然と意識をもつたとは言えないのでしょうか。いわば、政治的・外交的環境が厳しければ厳しいほど際立つ活動であるべきだとは言えな

宮城県日中友好協会
会長 佐々木 謙

るよう心からお祈り申し上げます。しかし皆さん、私達がそもそもが、社会的な行動制限や精神的な規制により大きな制約を受けており、自由で開かれた活動を行なうことが難しい情勢にあります。

これは、口で云うほど簡単ではありません。その意味で、このところの民間交流活動はいわば冬の時期にあると言つてもいい

あります。その意味で、ここ

のところの民間交流活動はいわ

ば冬の時期にあると言つてもいい

あります。私達を囲繞する環境が厳しい

時こそ、今一度、私達の活動の

原点とその理念を振り返る心の

余裕を持ちたいものだと思います。

会員の皆様も是非、お一人

お一人ご自分のお考えを整理い

ただき確信をもって新しい挑戦

かけにしていただくなきつまつ

かけにしていただければと思つ

ています。

本年も会員の皆様のお考えが

より良く反映される協会運営に

努めてまいりますので、引き続

きよろしくお願ひ致します。

新年の御挨拶

東北地区中国学友会

会長 郁澤 康

五十周年であり、両国にとって記念すべき重要な年でございます。

国交正常化五十周年を契機に、引き続き民間友好の伝統を広げ、中国との交流協力を深め、中日民の心の通り合いを促し、新しさを晴々しい気持ちでお迎えのことをお慶び申し上げます。

改めまして、新年おめでとうございます。二〇二三年も、より一層のご支援を賜りますよう、学友会一同

東北地区中国学友会 二〇二三年行事予定表	
予定日・行事名	一月中旬
新春お祝い会	四月
新入生向け説明会	六月
東北大學国際祭り・中国学友会コーナー	十月
新入生向け説明会	十一月上旬
東北大學 大学祭・中国学友会コーナー	不定期
中国留学生向け就職セミナー	

仙台市泉日中友好協会

会長

郷湖健一

理事長

針三浦光男

事務局長

九八一〇三二二

仙台市泉日中友好協会

会長

佐々木同宏剛謙

理事長

三浦勇八郎

事務局長

九八一〇三二二

宮城県日中友好協会青年委員会

委員長

沼昭

副委員長

吉澤千明

事務局長

九八一〇三二二

宮城県日中友好協会女性委員会

委員長

戸憲子

副委員長

瀬戸加寿子

相談役

九八一〇三二二

宮城県日中友好協会

会長

佐々木雄二

理事長

高橋安喜

副議長

九八一〇三二二

謹賀新年

会長

佐々木

理事長

水戸

副議長

九八一〇三二二

謹賀新年

会長

佐々木

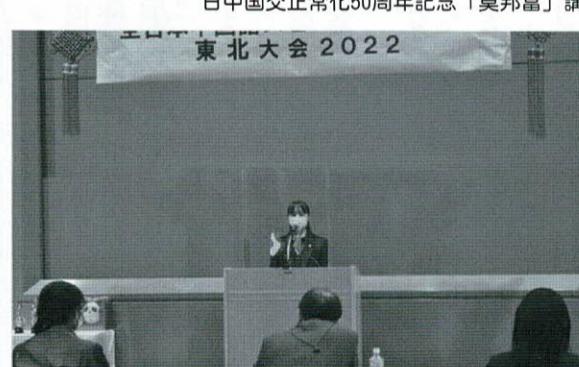
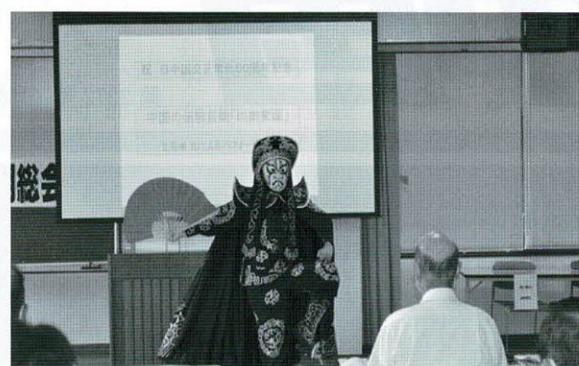
理事長

高橋安喜

副議長

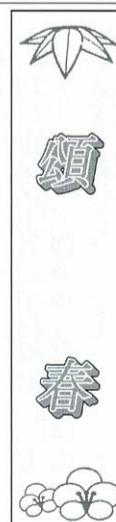
九八一〇三二二

写真で綴る宮城県日中の主な活動 2022



全日本中国語スピーチコンテスト東北大会2022の一部 (10/30) 左から佐々木会長挨拶、発表風景、93歳の誕生日を迎えた坂田氏に花束贈呈

美里町小牛田日中友好協会 会長：佐々木加治 副会長：佐々木誠 事務局次長：美里町青生字新鳴瀬一七二 TEL・FAX〇三九三三一六三七 九八七一〇一五 九八七一〇五一 登米市迫町佐沼字錦一〇四(太田) TEL・FAX〇三〇一三一三五六一三六	登米市日中友好協会 会長：佐々木白木幸 副会長：博記猛 事務局長：太小佐々田 九八一三三〇三 九八一三三〇三 富谷市太子堂一四一九 TEL・FAX〇三一三五八一〇九四四	富谷市日中友好協会 会長：横安渡松中 副会長：山住辺田山 事務局兼任：戸雄 九八九一六一四三 九八九一六一四三 大崎市古川中里四丁目五十一四(菅井) TEL〇二三一五二三一七三一七三〇七 FAX〇二三一五二三一七三一七三〇七	大崎市日中友好協会 会長：佐菅村高鈴 副会長：木井田橋木利富次寿 副会長：利夫夫男孝郎 理事長：生幸一幸一 事務局長：戸雄 九八六一〇八七三 九〇一一八四四一〇五四八(木村)	石巒地区日中友好協会 会長：木齊加白 副会長：村藤藤井正敏雅省 副会長：幸子基三 理事長：佐々木 九八六一〇八七三 九〇一一八四四一〇五四八(木村)
--	--	---	---	---

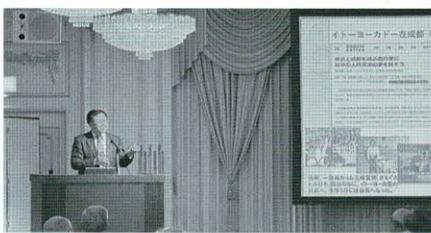


宮城県日中友好協会
日中國交正常化五十周年記念
「莫邦富氏」講演会

副理事長 横山 弥生



講演会会場



莫邦富先生の講演の様子



佐々木謙会長挨拶

十一月六日、仙台何ができるのか、莫邦富氏にその後の報告が行われた。すると、莫邦富氏は「日中交流の地方発信に感じた手応え」をテーマに講演していました。会場は八十二名の聴衆が集まり耳を傾けました。「日中関係で、自分ができることをすり耳を傾けてきた。静岡県や高知県での事業を紹介しながら、SNSの活用、政治色を出さないこと、組織や団体に依存しない事業、個人や企業からの少額の寄付やクラウドファンディングでの資金集め、地域を越えた連携の必要性など、今後の活動の参考になる話をたくさんいただいた。

「当たって碎けろ」という思いを持つ人がある程度いると道が開ける」「今まで平和と発展の五十年、これからは平和と繁栄の五十年」「やれるところから一歩一歩」という言葉に勇気をいただいた。これが

市江陽グランドホ先生にその後の報告が行われた。すると、莫邦富氏は「日中交流の地方発信に感じた手応え」をテーマに講演していました。会場は八十二名の聴衆が集まり耳を傾けました。「日中関係で、自分ができることをすり耳を傾けてきた。静岡県や高知県での事業を紹介しながら、SNSの活用、政治色を出さないこと、組織や団体に依存しない事業、個人や企業からの少額の寄付やクラウドファンディングでの資金集め、地域を越えた連携の必要性など、今後の活動の参考になる話をたくさんいただいた。

「当たって碎けろ」という思いを持つ人がある程度いると道が開ける」「今まで平和と発展の五十年、これからは平和と繁栄の五十年」「やれるところから一歩一歩」という言葉に勇気をいただいた。これが

市江陽グランドホ先生にその後の報告が行われた。すると、莫邦富氏は「日中交流の地方発信に感じた手応え」をテーマに講演していました。会場は八十二名の聴衆が集まり耳を傾けました。「日中関係で、自分ができることをすり耳を傾けてきた。静岡県や高知県での事業を紹介しながら、SNSの活用、政治色を出さないこと、組織や団体に依存しない事業、個人や企業からの少額の寄付やクラウドファンディングでの資金集め、地域を越えた連携の必要性など、今後の活動の参考になる話をたくさんいただいた。

「当たって碎けろ」という思いを持つ人がある程度いると道が開ける」「今まで平和と発展の五十年、これからは平和と繁栄の五十年」「やれるところから一歩一歩」という言葉に勇気をいただいた。これが

市江陽グランドホ先生にその後の報告が行われた。すると、莫邦富氏は「日中交流の地方発信に感じた手応え」をテーマに講演していました。会場は八十二名の聴衆が集まり耳を傾けました。「日中関係で、自分ができることをすり耳を傾けてきた。静岡県や高知県での事業を紹介しながら、SNSの活用、政治色を出さないこと、組織や団体に依存しない事業、個人や企業からの少額の寄付やクラウドファンディングでの資金集め、地域を越えた連携の必要性など、今後の活動の参考になる話をたくさんいただいた。

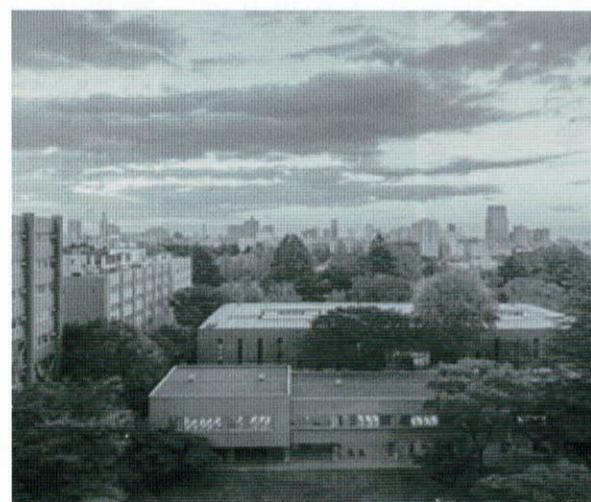
「当たって碎けろ」という思いを持つ人がある程度いると道が開ける」「今まで平和と発展の五十年、これからは平和と繁栄の五十年」「やれるところから一歩一歩」という言葉に勇気をいただいた。これが

市江陽グランドホ先生にその後の報告が行われた。すると、莫邦富氏は「日中交流の地方発信に感じた手応え」をテーマに講演していました。会場は八十二名の聴衆が集まり耳を傾けました。「日中関係で、自分ができることをすり耳を傾けてきた。静岡県や高知県での事業を紹介しながら、SNSの活用、政治色を出さないこと、組織や団体に依存しない事業、個人や企業からの少額の寄付やクラウドファンディングでの資金集め、地域を越えた連携の必要性など、今後の活動の参考になる話をたくさんいただいた。

「当たって碎けろ」という思いを持つ人がある程度いると道が開ける」「今まで平和と発展の五十年、これからは平和と繁栄の五十年」「やれるところから一歩一歩」という言葉に勇気をいただいた。これが

(公社) 日中友好協会 アリアケジヤパン奨学金

東北大大学院教育学研究科臨床心理学コース博士後期課程二年 任亦雷



日常、東北大学研究室風景



仙台駅前、優勝記念横断幕



県日中事務所で奨学生授与（右から三人目の女性が任亦雷さんです）



株式会社イッコウ
皆様と共に笑顔を追い求めて

株式会社イッコウ
代表取締役 木村 晃

平和・文化・教育
創価学会東北文化会館
TEL: 010-3111-3666
FAX: 010-3111-3666
URL: http://www.sokanet.jp

株式会社イッコウ
代表取締役 木村 晃

セイタイ運輸株式会社
代表取締役社長 鈴木寿郎
TEL: 010-3111-3666
FAX: 010-3111-3666
URL: http://www.sokanet.jp

大杉不動産
コンサルタント
代表取締役社長 村田次男
TEL: 010-3111-3666
FAX: 010-3111-3666
TEL: 010-3111-3666
FAX: 010-3111-3666
TEL: 010-3111-3666
FAX: 010-3111-3666

清水内科医院
医療法人社団 宏洋会
院長 清水 雅行（内科・外科・漢方）
顧問 劉 平夫（吉林省人民医院教授）
仙台市若林区若林五丁目四一五〇
○一二一九八六一五八六

頌
春

